

# 事業概要【防災環境“周遊”都市・仙台モデル推進事業】

別紙

## 〔令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）TYPE2採択〕

- 防災・減災の備えや情報発信を日常生活に織込みながら、日常と災害時等の非日常を「フェーズフリー」につなぎ、安全・安心と賑わいが両立する「防災環境“周遊”都市・仙台モデル」の実現を目指す。

### 1 市民／来街者向けポータル構築・災害時の情報発信

必要な情報やサービスにアクセスできる共通インターフェースを整備。災害時には避難情報等を発信。



### 1-2 データの可視化

BIツールを用いて、様々なデータを可視化し、現状把握の促進やサービス創出を図る。



### 4 デマンド交通の利便性向上

中山間エリアの地域交通にオンライン予約受付システムを導入し、利便性を向上させる。



### 5 オンライン診療の活用

看護師が搭乗し医療機器を搭載した診療カーを用いたオンライン診療を実施。



### 6 シェアサイクルの活用

電動シェアサイクルを公共交通空白地帯の沿岸エリアにて展開し、エリア内の周遊を促進。



### 7 デジタルデバイドの解消

老人福祉センターへスポーツ機器を設置し、高齢者のデジタルデバイス活用や生きがいづくり等を図る。



### 2 デジタルマップの活用

公共交通機関やお出かけに関する情報を一元的に表示し、外出意欲を創出する。



### 3 人流センサー・情報発信アプリの活用

センサーによる人流の可視化とイベント情報等の発信を組み合わせて、都心の回遊性向上を図る。

